

# 平成27年8月 全員協議会

平成27年8月6日（木曜日）

齋藤 勝利 議長



説明のための出席者：政府機関

※ [8月6日の全員協議会について](#)

## 〈議長 冒頭あいさつ〉

齋藤勝利議長

東日本大震災から5年目を迎え、本県は地震、津波、原発事故、風評というかつて経験したことのない厳しい状況の中、県民が一丸となって懸命に復興を進めているところであるが、依然として11万人を超える県民が避難を余儀なくされ、廃炉・汚染水対策、除染・中間貯蔵施設への搬入、被災者の生活再建、インフラ復旧、復興まちづくり、風評・風化対策など、県全域で原子力災害は継続中である。

本日の全員協議会は、ことし6月に「福島復興指針」の改訂が閣議決定されたが、本県の将来展望は今なお不透明であることから、福島第一原子力発電所事故への対応状況や原子力災害からの復興等について協議を行うため招集したものである。

なお、前半は「福島第一原子力発電所事故への対応等について」並びに「除染及び中間貯蔵施設について」、後半は「被災者支援・生活再建のための取り組みについて」並びに「福島復興・再生への取り組みについて」協議を進めていくので、了承願う。

## 〈議長 前半終了 閉会あいさつ〉

齋藤勝利議長

これをもって、福島・みどりの風の質問を終わる。

以上をもって、質問を終わる。

本日、前半部分の協議終了に当たり、一言述べらる。

原発の事故収束を初めとした安全確保の取り組みは、本県の復興・再生の前提となる最も重要な課題である。また、中間貯蔵施設については、地域、そして本県の将来に大きな影響を及ぼすものである。

本日出席の政府機関各位においては、本日の全員協議会で各議員から述べられた意見等を真摯に受けとめ、国の責任において確実に事故収束、廃炉作業を推し進めるとともに、必要な除染を確実に実施し、福島復興・再生がしっかりとなし遂げられるよう総力を挙げて最後まで取り組むことを強く求めるものである。

## 〈議長 後半終了 閉会あいさつ〉

齋藤勝利議長

本日の協議終了に当たり、一言述べる。本日は長時間にわたり、議事運営に協力いただき感謝する。東京電力福島第一原子力発電所は、依然として事故収束とは言える状況にはなく、いまだ11万人もの県民が避難を余儀なくされており、生活や事業に対してさまざまな不安を抱えている。

本日出席の政府機関各位においては、全員協議会において各議員から述べられた意見等を真摯に受けとめ、迅速かつ十分な賠償及び生活再建、きめ細やかな避難者への支援を確実に実施するとともに、福島復興・再生がしっかりとなし遂げられるよう国の総力を挙げて最後まで取り組むことを強く求めるものである。